

第2回 臨地実習指導者研修

2024年7月5日 開催

16名が参加しました



講師：長崎大学医学部保健学科の先生方



- 【目的】**
臨地実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導ができる。
- 【目標】**
1. 臨地実習を受け入れる一連の流れが理解できる。
 2. 実習指導を意図的・計画的に実践する必要性が理解できる。
 3. 学生が主体的に学ぶための指導方法を理解できる。
 4. 病棟スタッフ、教員と共に、学生指導を取り組むための行動を述べることができる。
 5. 実現したい指導の方向性が明確にできる。

1 臨地実習受け入れの流れについて

臨地実習指導者の役割や心構えを共有し、実習の一連の流れについて学びました。



臨地実習指導者会では、実習をスムーズに行うために必要な情報共有や意見交換を行います。
臨地実習マニュアルもみてくださいね。

柴田副看護師長

臨地実習指導者の目標

1. 学生が効果的な臨地実習を実践できるよう 人的・物的環境を整える。
何事にも「準備が大事」といってすねの
2. 学生の意欲を喚起し、看護への意欲・能力の向上への動機づけを行う。
動機づけ=「学習や行動の原動力」



2 実習指導の基本

講義

教材観・学生観・指導観とは何か、実習領域に合わせて何をどう学ばせるかについてや、学生の特徴を学びました。



臨地実習は、近い将来、仲間となる学生たちに看護の魅力、やりがいを示す絶好のチャンスです!

永橋先生

『実習指導の基本について』



学生はとても緊張して実習に行きます。指導者さんからの支援はとても助けになります。指導者さんからの働きかけ、環境づくりをよろしくお願いします。

山田先生

『学生の特徴について』

3 実習指導の実際

グループワーク①

事例をもとに学生に指導したいこと、指導方法や指導上の留意点を考慮し、具体的に考えました。



いつもやさしくご指導していただきありがとうございます。指導者さんが一人で悩んだりしないように教員とコミュニケーションを取りながら一緒に楽しくやっていきましょう。

吉田先生

4 指導者と教員と連携について考えよう

グループワーク②

工夫していること、困っていることを話し合い、よりよくする方法を一緒に考えました。

- ・実習前から先生と学生の特徴やスケジュールの共有など連絡を取り合う。
- ・指導者が学生の特徴や実習目標などを病棟スタッフに伝達したり、掲示して共有しておく。
- ・病棟で使用できるものについて共有しておく、行動計画に行えるケア項目を入れやすい。
- ・指導者と教員で役割分担(記録物の確認やケアの指導)をする。
- ・教員と密にコミュニケーションをとることで指導内容の共有ができ、学生も安心して実習に臨めた。



5 指導の方向性の明確化

個人ワーク

「実習を通して学んでほしいこと」「学生には将来こんな看護師に育ててもらえたらいいな」という「ねがい」を明確化しました。

実習指導者のみなさまへ

みなさんは学生さんの看護観やこれからの看護師人生に影響を与える人です。みなさんの「ねがい」には学生指導への熱意と学生さんを大切にしたい気持ちが伝わってきました。学生さんと共に成長していきましょう!



～参加者からの声～

- ・研修を受けることで、他の部署の指導者さんと思いを共有でき、不安軽減に繋がりました。
- ・近年の学生の傾向も知ることができたので良かったです。
- ・教員の先生と実際に長くお話ができて、先生が困っていることなど聞けたので、今後の実習の連携の時に活かしていこうと思いました。